

製品名: E2F2 (6C14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10252**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:100-1:500
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	E2F2
別名	De2f2; E2F transcription factor 2; E2F-2; Transcription factor E2F2;
遺伝子 ID	1870.0
SwissProt ID	Q14209
免疫原	ヒト E2F2 の合成ペプチド

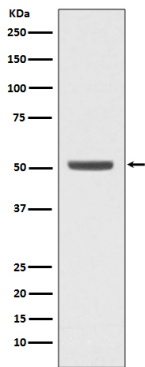
背景

細胞増殖の負の調節において重要な役割を果たします。Rb の機能的不活性化は、突然変異、または DNA 腫瘍ウイルスがコードするタンパク質との相互作用の結果として媒介されます。DRTF1/E2F 複合体は、g1 期から s 期への細胞周期の進行の制御において機能します。E2F2 は、細胞周期依存的に RB1 に特異的に結合します。E2 認識部位 5'-TTTC[CG]CGC-3' を介して DP タンパク質と協調的に DNA に結合する転写活性化因子は、細胞周期の調節や DNA 複製に関与する産物を持つ多くの遺伝子のプロモーター領域に存在します。DRTF1/E2F 複合体は、g1 期から s 期への細胞周期の進行の制御において機能します。E2F2 は、細胞周期依存的に RB1 に特異的に結合します。

研究分野

-

画像データ



K562 細胞溶解物中の E2F2 発現のウェスタンプロット解析。